

## 山田図書館企画展示「10代のアナタにおくる どらまでいっく 50」

**わくわく** 新しい人との出会いや冒険にワクワク。人間って、生きるって、おもしろい、と感じられる9冊。

| タイトル           | 著者               | 出版社     | 分類       | オススメコメント   |
|----------------|------------------|---------|----------|--|
| ZOOM(ズーム)      | イシュトバン・バン<br>ニヤイ | ブッキング   | えほん      | ニワトリのトサカが、どんどんズームアウトしていき、星の光に！世界の見方が変わるかも？！                          |
| 図書館の神様         | 瀬尾まいこ            | マガジンハウス | F        | わけあって文学部に進み、高校の国語講師となった清(きよ)は図書部の顧問となる。でも部員はたった一人、垣内君だけ。             |
| 4TEEN          | 石田衣良             | 新潮社     | F        | 東京の下町、月島中学に通う中学生4人組。次々と起こる出来事を受けとめ、4人は成長していく。爽やかな8つの物語。              |
| ぎぶそん           | 伊藤たかみ            | ポプラ社    | 913(じどう) | 田舎町でバンドを組む4人は文化祭目指して練習する。友情も恋もからむ元気あふれる中学生生活の物語。                     |
| ジーク            | 斉藤洋              | 偕成社     | 913(じどう) | 出生に秘密がある、銀の瞳を持つ美しい若者ジークと仲間たちは、国の命運をかけて敵国と戦う。続編は『ジーク』                 |
| 十二国記(シリーズ)     | 小野不由美            | 講談社     | F        | 異世界「十二国」を舞台に、各国の王と神獣「麒麟」をめぐる物語を描いたファンタジー。                            |
| デルフィニア戦記(シリーズ) | 茅田砂胡             | 中央公論新社  | F        | 異世界からの迷子リィと、放浪の騎士ウォル。二人の偶然の出会いが、王国と大陸の運命を大きく変えていく…。読み出したらとまらない冒険大活劇。 |
| しゃばけ           | 畠中恵              | 新潮社     | F        | 病弱だけどしっかり者の若旦那と、おせっかいな妖怪たちが繰り広げる愉快で不思議な推理帖。続編もたくさんあります。どれもオススメ！      |
| タンタンの冒険旅行      | エルジェ             | 福音館書店   | えほん      | 少年記者タンタンと愛犬スノーウィが、世界じゅうを駆け巡り、事件を解決。月はまだ行けないけれど、訪れてみたいところばかり。         |

**どきどき 謎** OK！危険 上等！恐怖 まかせろ～っ！。胸高鳴る10冊。

| タイトル              | 著者             | 出版社  | 分類      | オススメコメント  |
|-------------------|----------------|------|---------|---|
| 13ヶ月と13週と13日と満月の夜 | アレックス・シア<br>ラー | 求龍堂  | 93(じどう) | ”今あるものをすべて当然だと思っはいけない”。魔女にのっとられた身体をとりもどせる時間はあと1週間。      |
| 穴                 | ルイス・サッカー       | 講談社  | 93(じどう) | 無実の罪で砂漠の収容施設に送られた少年と、かれのひいひいおじんに逆のぼる一族の物語。施設での体験が、気になる。 |
| 氷菓                | 米澤穂信           | 角川書店 | F       | ある高校の「古典部」の部員たちが日常にひそむ謎を解き明かす学園ミステリシリーズ。                |

| タイトル           | 著者      | 出版社    | 分類  | オススメコメント  |
|----------------|---------|--------|-----|---|
| 武士道シックスティーン    | 誉田哲也    | 文藝春秋   | F   | 剣道エリートの香織と、のんびり屋で日舞から剣道に転向した早苗。相反する二人は同じ高校に入部して…。『武士道セブンティーン』もオススメ。       |
| 鹿男あをによし        | 万城目学    | 幻冬舎    | F   | オレは大学院生。短期間だけ奈良の女子高で教師をした。剣道部の顧問もやり奇跡的勝利も勝ち取った。ここでの不思議な体験をじっくり味わってもらおうか。  |
| 野ブタ。をプロデュース    | 白岩玄     | 河出書房新社 | F   | 高2の修二は人気があってカッコよかった。さえない転校生を教室デビューさせる余裕もあった。それなのに、あの修二がどうして？まずいことでもあったのか？ |
| 69(シックスティナーイン) | 村上龍     | 集英社    | F   | 学生運動が続いていた69年、長崎県佐世保の進学校は在校生によりバリケード封鎖された。バリケード、映画祭、受験。エネルギーあふれる高校生小説。    |
| 凍りのくじら         | 辻村深月    | 講談社    | F   | 一人で平気だなんて、どうして信じていられたんだろう。息苦しさを抱える人に贈るSF(すこしふしぎな)物語。                      |
| 歌う悪霊           | エルム・オルン | 小峰書店   | えほん | 《おまえは、そこで、なにをしている？…いったい、…なにを？》地面の底から聞こえる歌声に返事をしたばかりに。                     |

**うるうる** 時には心がカサカサかわいてしまうことがある。気がつくと涙が出ている、じーんと心がうるおう10冊。

| タイトル         | 著者       | 出版社  | 分類       | オススメコメント   |
|--------------|----------|------|----------|--|
| 檸檬のころ        | 豊島ミホ     | 幻冬舎  | F        | 思い出すたびに胸が痛くなる、そんな高校生活の一瞬一瞬を鮮やかに切り取った連作短編集。                                 |
| 夜のピクニック      | 恩田陸      | 新潮社  | F        | 昼夜を通し80kmを歩く「歩行祭」。高校生活最後の「歩行祭」の夜、貴子はある「賭け」をする。ゴールが近づく頃、ある奇跡が…。             |
| 香港の甘い豆腐      | 大島真寿美    | 理論社  | 913(じどう) | 高校生の私、生まれてこのかた父親を知らない。いつものように母親に不満を言うと、突然連れて来られたのは香港。お父さんは香港の人なの？黙っているなんて！ |
| 夏の庭          | 湯本香樹美    | 新潮社  | F        | 6年生の仲良し3人は、ある一人暮らしのおじいさんを見張ることにした。死を確かめるために。でもそのうちおじいさんはかけがえのない人になった。      |
| しゃべれどもしゃべれども | 佐藤多佳子    | 新潮社  | F        | 人前で話すことに自信がなくて困っている職業・年齢さまざまの4人が、若手落語家に話し方の改善目指して落語を習う。もどかしい彼ら、大丈夫か？       |
| アルジャーノンに花束を  | ダニエル・キイス | 早川書房 | 933      | 脳外科手術を受け、超能力を持つ天才に変わったチャーリー。その彼を待ち受けていたことは？そして彼がたどり着いた「場所」は？               |
| 異邦の騎士        | 島田荘司     | 講談社  | F        | 記憶を失ってベンチで目覚めた「俺」が出会ったのは、一人の女性と、奇妙な占い師、御手洗潔。胸がしめつけられるような、苦い恋と友情の物語。        |
| 啄木歌集         | 石川啄木     | 岩波書店 | 9111     | 「盛岡の中学校のバルコンのてすりにも一度我をよらしめ、懐かしさがこみ上げてきます。啄木は早世したけれどみなさんは長生きしましょう。          |

| タイトル   | 著者           | 出版社      | 分類      | オススメコメント   |
|--------|--------------|----------|---------|--|
| ピアノ調律師 | M. B. ゴフスタイン | すえもりブックス | 93(じどう) | おじいさんのようなピアノ調律師にないたい、デビー。でもおじいさんはピアニストにさせたいようです。調律道具は全部言える位大好きなのに。 |

### ぶわっはは 失敗と落ち込みは、笑いでぶっとばそう。「笑」の8冊。

| タイトル         | 著者         | 出版社     | 分類       | オススメコメント   |
|--------------|------------|---------|----------|--|
| 十七歳だった！      | 原田宗典       | マガジンハウス | F        | ハラダ君いわく「青春とは大きな誤解だッ！」恥ずかしくも楽しい高校生活をセキララに綴った一冊。               |
| ワセダ三畳青春記     | 高野秀行       | 集英社     | F        | 三畳一間、家賃1万2千円。ぼろアパートの可笑しくて壮絶な日常生活…。ちょっとウラヤマシイけれど、こんな青春は嫌だ!!!  |
| 金春屋ゴメス       | 西条奈加       | 新潮社     | F        | 東京・竹芝埠頭から千石船で着いたのは江戸！身請け先は泣く子も黙るゴメス大明神？？ゴメスが何か知りたい人は読んでね。    |
| 彩雲国物語        | 雪乃紗衣       | 角川書店    | F        | 家柄は高貴でも超貧乏な紅家の娘、秀麗が引き受けたバイトは、若き「ダメ王」の教育係！中華風「政治」ファンタジー。      |
| 妖怪アパートの幽雅な日常 | 香月日輪       | 講談社     | 913(じどう) | 妖怪が怖い？差別すんなよ。狭い常識、捨てちまえ。人生は長く、世界は果てしなく広い。肩の力を抜いていこうぜ！        |
| へんないきもの      | 早川いくを      | バジリコ    | 480      | 実在するとはとても思えません。精緻なイラストに思わず息をのみ、そしてじっと見てしまいます。あなたは、どれがお気に入り？  |
| オリビア         | イアン・ファルコナー | あすなる書房  | えほん      | 踊りも、泳ぎも、お絵かきも、オリビアは何でも一生懸命。一日のメには、やっぱり読書。「こんやは5さつだけでいいから、ママ」 |

### そうなんだ！ 自分だけで解決できないことはたくさんある。先人の知恵や世の中の深さ、知ることの楽しさを教えてくれる13冊。

| タイトル        | 著者    | 出版社        | 分類      | オススメコメント  |
|-------------|-------|------------|---------|---|
| お金で死なないための本 | 宇都宮健児 | 太郎次郎社エディタス | 33(じどう) | カードは便利だけど、使い方を誤るととんでもないことになる。お金の知識を身につけて社会に出てから大変な目にあわないようにご用心。         |
| 君たちはどう生きるか  | 吉野源三郎 | ポプラ社       | 08(じどう) | 70年以上前に出た古典といえる本。15歳の少年コペル君は日常の様々な出来事についておじさんと話し合う。社会科学的に見るとは何か？！       |
| 福翁自伝        | 福沢諭吉  | 慶応義塾大学出版会  | 2891    | 読まないで「偉人」の自伝なんて興味ない、なんてもったいない。リズムのいい生き生きとした文章が続きます。福沢さんの感覚は現在人の先を行っている！ |
| 自分のなかに歴史をよむ | 阿部謹也  | 筑摩書房       | 20(じどう) | 学問のテーマは、人生体験からわき起こった、やらなければ生きていけないテーマ。人文の勉強をしたい人はぜひ一読を。                 |

| タイトル                   | 著者    | 出版社   | 分類       | オススメコメント  |
|------------------------|-------|-------|----------|---|
| アポウドリの糞でできた国           | 吉田靖   | アスペクト | 274      | ナウル共和国は、太平洋の小さな島。税金ゼロ、学校・病院はタダ、国民は働かない不思議な国。「国って何？」と考えさせられるカワイイ本。       |
| レイチェル・カーソン             | 小手鞠るい | 理論社   | 289(じどう) | 環境汚染を訴え続けた女性科学者の人生を、小手鞠さんが軽快に紹介。カーソンの著作を読んでみたくになります。                    |
| これ、誰がデザインしたの？          | 渡部千春  | 美術出版社 | 674      | 誰もがいつかいたり、長い間使われている、「場所」や「物」。そこに使われているマークや形や模様は誰が考え出したのだろう。長く使われている理由は？ |
| 小林研一郎とオーケストラへ行こう       | 小林研一郎 | 旬報社   | 764      | 名古屋フィルハーモニー管弦楽団の演奏を聴いたことがありますか？クラック音楽をお堅いものと考えず、まずは聴いてみよう。              |
| 日本の伝統芸能はおもしろい<br>(全5巻) | -     | 岩崎書店  | 77(じどう)  | テレビでもおなじみの若手役者が、登場。歌舞伎・文楽・狂言を、映画やテレビドラマを見るように楽しめそう。                     |
| うるしの文化                 | 藤澤保子  | 小峰書店  | 75(じどう)  | お正月、お雑煮を何で食べましたか。私は、漆塗りのお椀でいただきました。あなたの家にも「うるし」が、きっとありますよ。              |
| 自分の脳を自分で育てる            | 川島隆太  | くもん出版 | 4913     | 脳ブームのこの頃。自分の脳を知るといいことがあるよ。  |
| 地球生活記                  | 小松義夫  | 福音館書店 | 3839     | 見てるだけで、とっても愉快。だんだん、この目で見るといって行きたくになります。地球は広いのです!!                       |